



*Dance
with Love!*

学生くん
と
花屋さん



展覧会？

はい
母さんがようやく
海外から帰ってきて

来月展覧会が
あるんです

そうなのか

それで
父さんと母さんが
タロウさんに
会いたいから

ぜひ来てほしい
って言うって

.....



あ...

そういうの
苦手ですか？

いや...少し
緊張して...

あはは！
まだ早いですよ

.....そうだな



それじゃ
オレはバイト
行きますね

ああ
気を付けてな

はい！

パークの
両親と.....

.....

家族……

パークはよく
家族の話を
してくれる

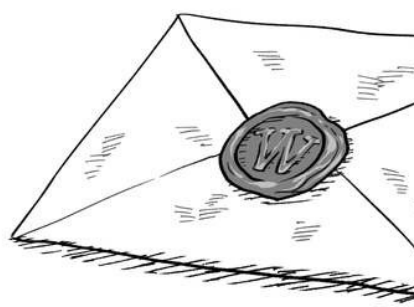
嬉しかったこと
叱られたこと
愚痴まで何でも



俺は
それを聞いて

どこか遠い国の
出来事のように
感じていた

その「遠い国」に
招かれてしまった



パークを育てた
素晴らしい両親

俺はその二人の
前に立っていいの
だろうか？

その国に
俺の居場所
はあるのだろうか？

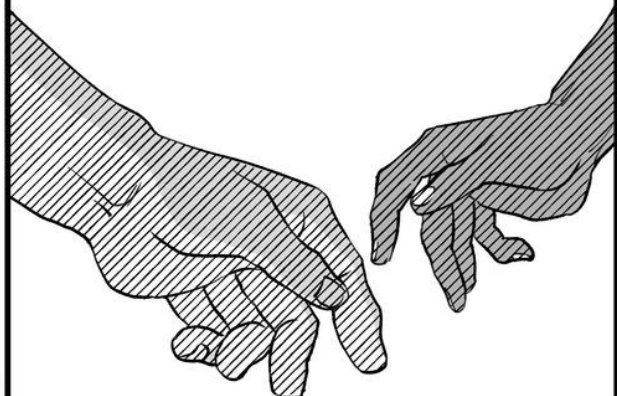


わかってる

二人が俺を
受け入れてくれる
ことくらい

俺にその覚悟が
ないだけだ

ど・ち・ら・に・し・て・も
向・き・合・う・べ・き・問・題



俺には
お前だけなんだ

ああ

空が眩しい



きっとそこは
楽園なのに

考えるだけで
胸が苦しい



展覧会当日

立派な生け花だ

はい
なんか師範とか
やってるみたいです

……すごいな

あなたが
タロウさん?

パークスの母の
ミヤコ・ウィルキンソンです

は
はじめまして

タロウ・カーライル
です

息子さんにはいつも
お世話になってます

素晴らしい作品
ばかりで…とても
参考になります

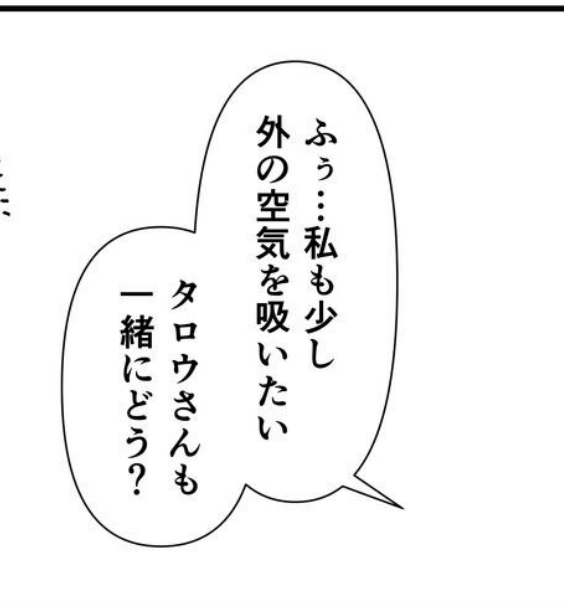
ふふ ありがとう
夫が到着したら
レストランへ
行きましょう

はい…

パーク

なに?





あの子の孤独を
受け止めてくれてる

パークが……
孤独？

そう

あの子とっても
お喋りでしょ？

だけど
「秘密」や「嘘」が
本当に下手なの

確かに……

だから友だちが
すごく少なくて

一人仲良しな子ば
いりゃいいだけやん

あの子の頭は
いつも世界に対する
感動でいっぱい

その感動をいつだって
誰かに伝えたくて
たまらない

でも

他人にとって
あの子の感動なんて
特に価値がない

ひとはね
「秘密」や「嘘」

そして「価値観」が
共通しないひとは
親しくなれないの

……

あの子いつも
言ってる

タロウさんが
楽しそうに自分の
話を聞いてくれて
嬉しいって

そう……
ですか……

あなたの孤独も

あの子に会って
きっと少し変わったの
でしょうね

……はい

でもね



孤独を
埋め合う
だけなら
誰にだって
できる

.....え



あなたは
パークを幸せに
してくれてる

でも
あなた自身は
幸せになろうと
しているの？

あなたは
心からあの子を
手放したくないと

そう思っでは
いないでしょう？

それは.....



パークが幸せに
なれるのならば

パークの隣に
いるのは自分で
なくてもいい

そう考えて
いない？

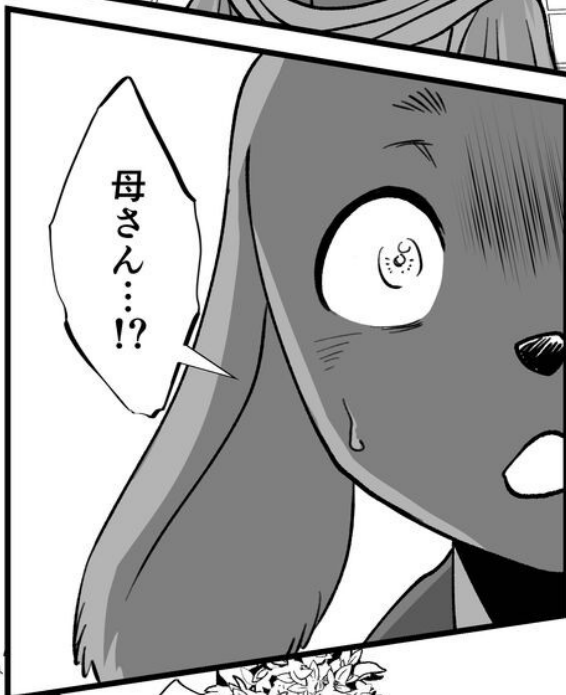
.....っ



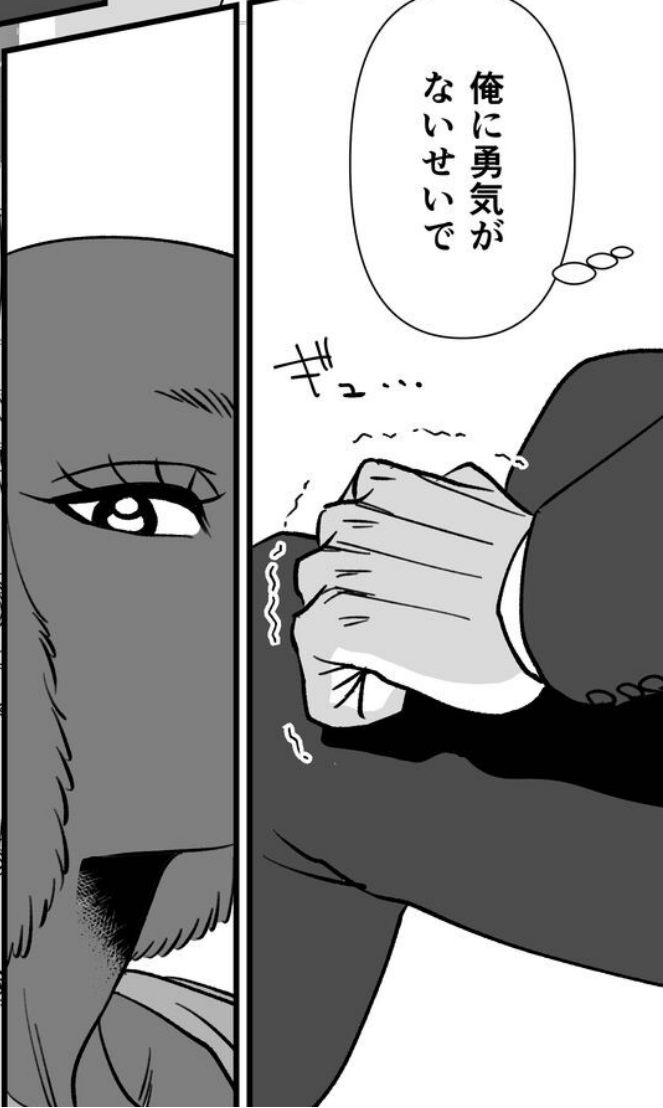
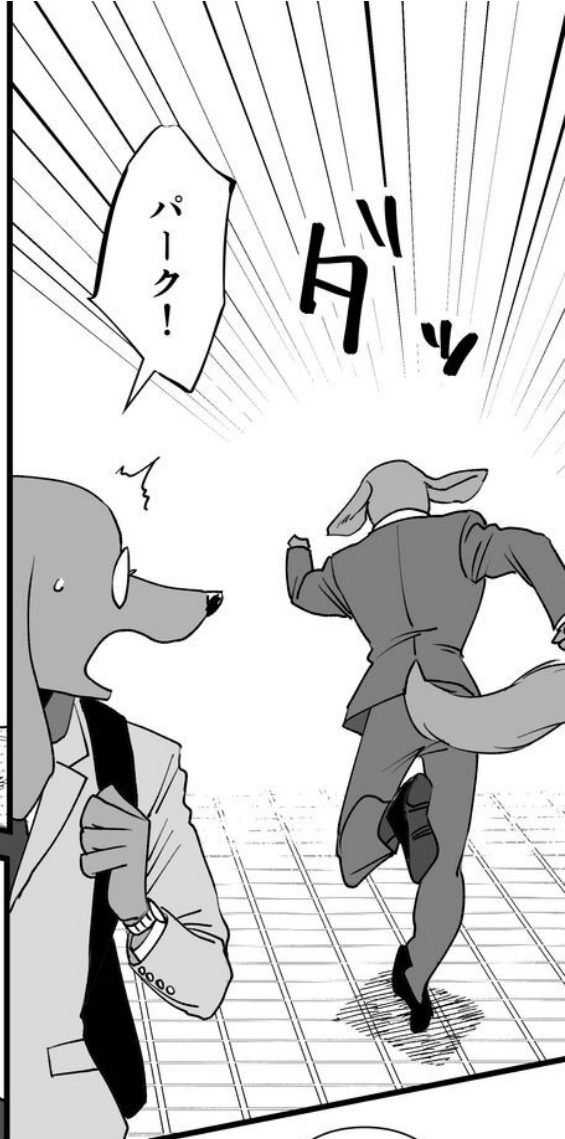
あ 母さん
こんなところに
いた！

ほら父さん
早く！

申し訳ないの
だけれど









あなたの
決意

そのかたちを

…はい

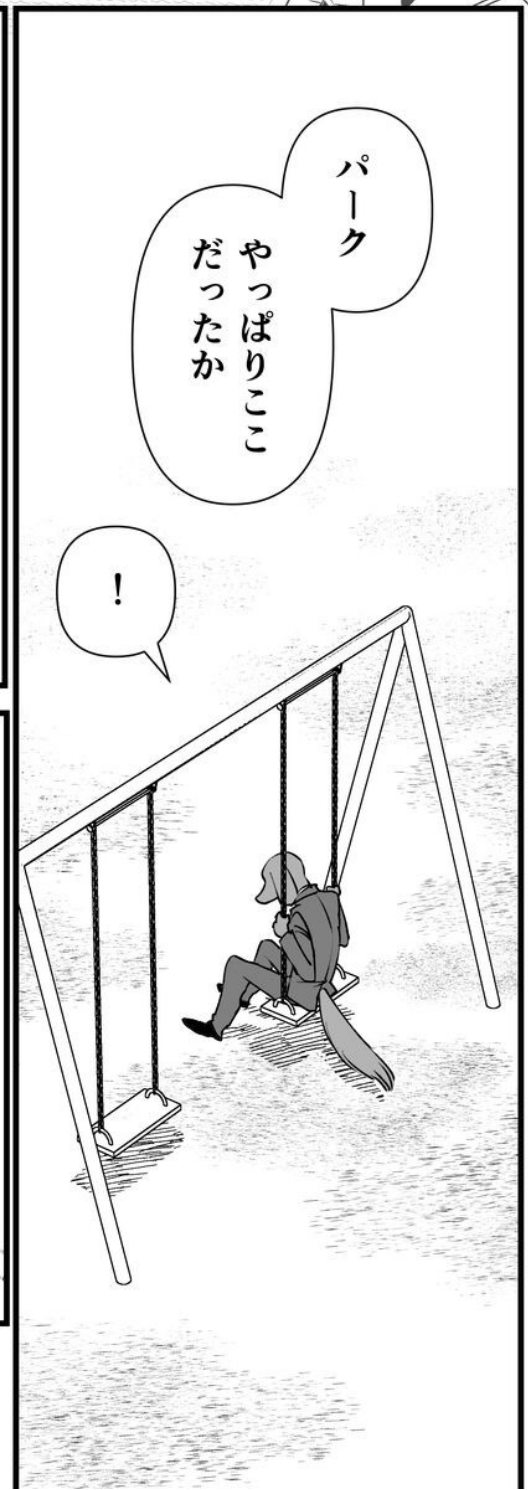


僕ももう年だし
あまり走らせ
ないでくれよ

はあ

はあ

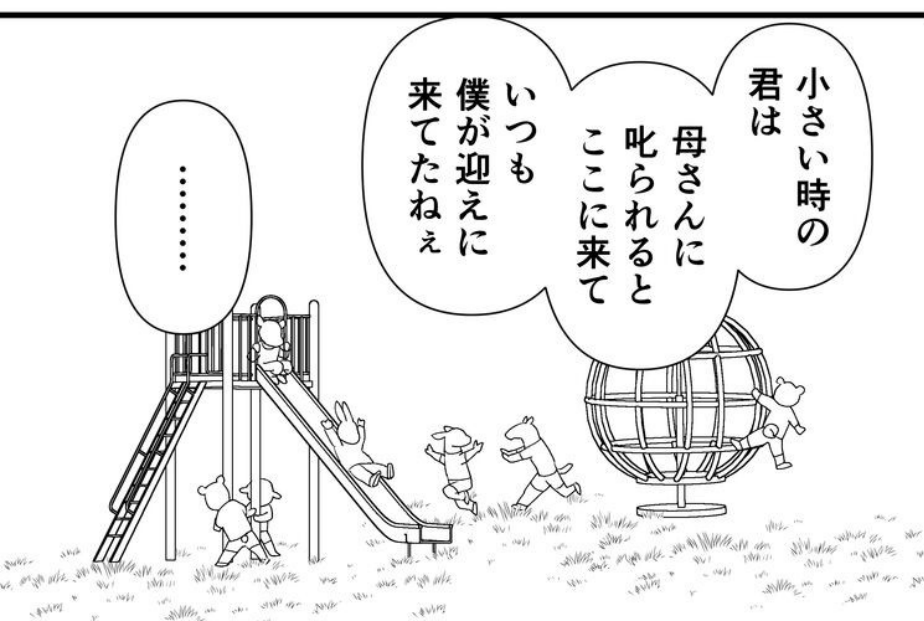
……父さんが
勝手に追ってきた
んじゃない…



パーク

やっぱりここ
だったか

！

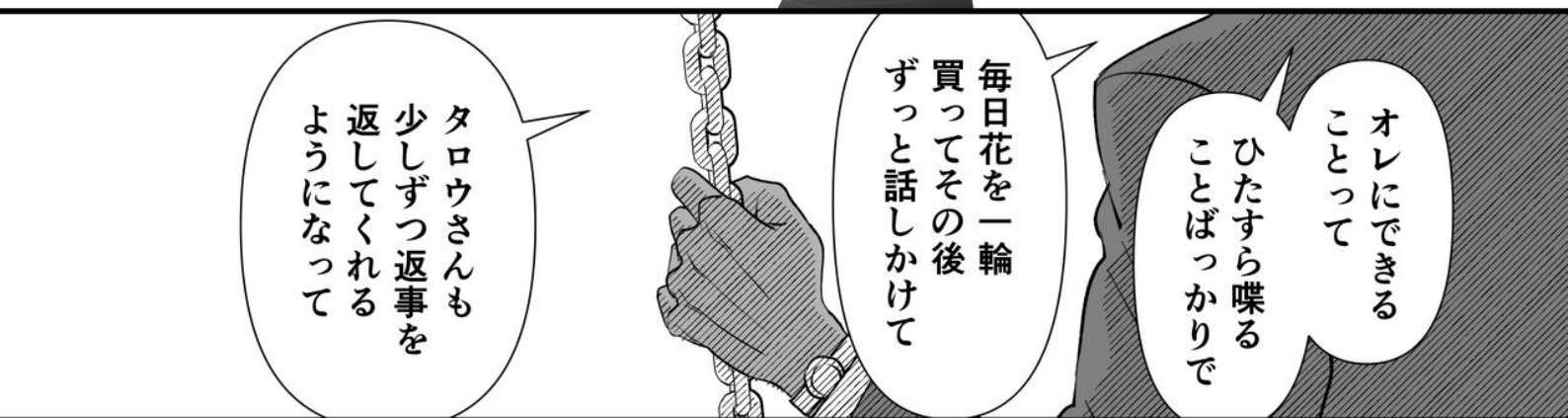
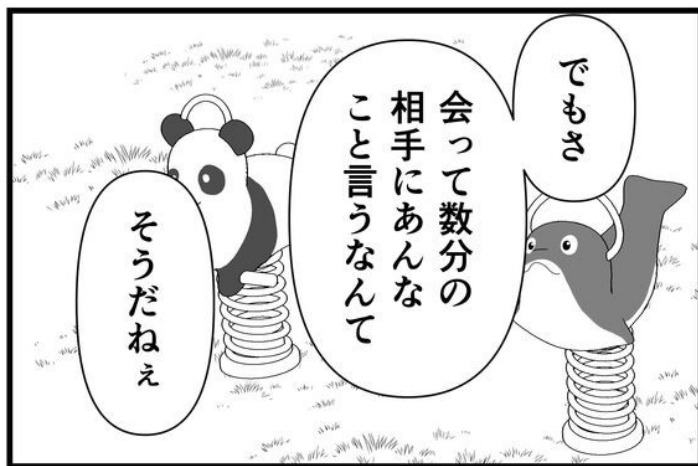


小さい時の
君は

母さんに
叱られると
ここにきて

いつも
僕が迎えに
来てたねえ

……



タロウさんの
気を引くために

花言葉なんかも
たくさん憶えた



入口はなんか
義務感みたいな
感じだったけど

いつの間にか
この人の世界を
独り占めしたいって
思うようになって

これが恋なんだって
初めて気づいたりした

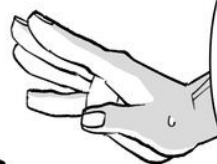


恋人になって
ほしいうて言ったら
タロウさんはすごく
困ってて

何度も
断られた

でもここで
諦めたら

絶対にお互い
幸せになれないって
なんとなく思って
食い下がったよ



……でもさ
それって

オレがタロウさんを
幸せにしたいって
言うより

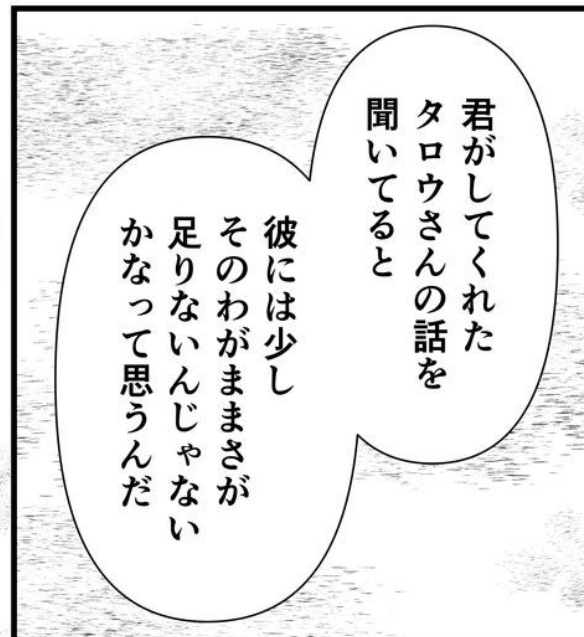
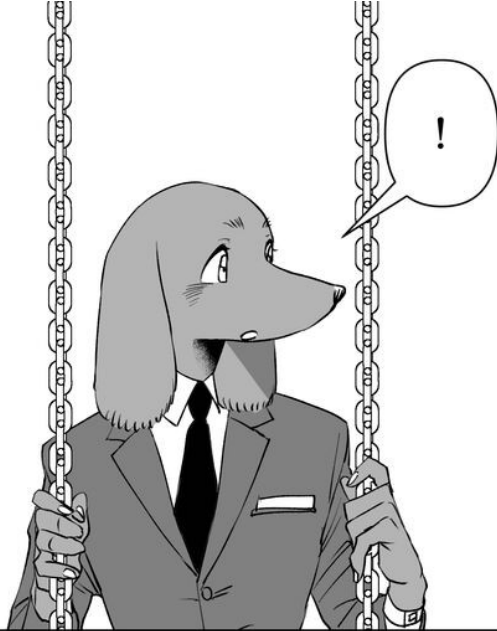
ただ自分が
幸せになりたいくて
やってたんだと
思うんだ

母さんには
それがわかって
たのかな

だから
あんなこと
言ったのかも

…そうか





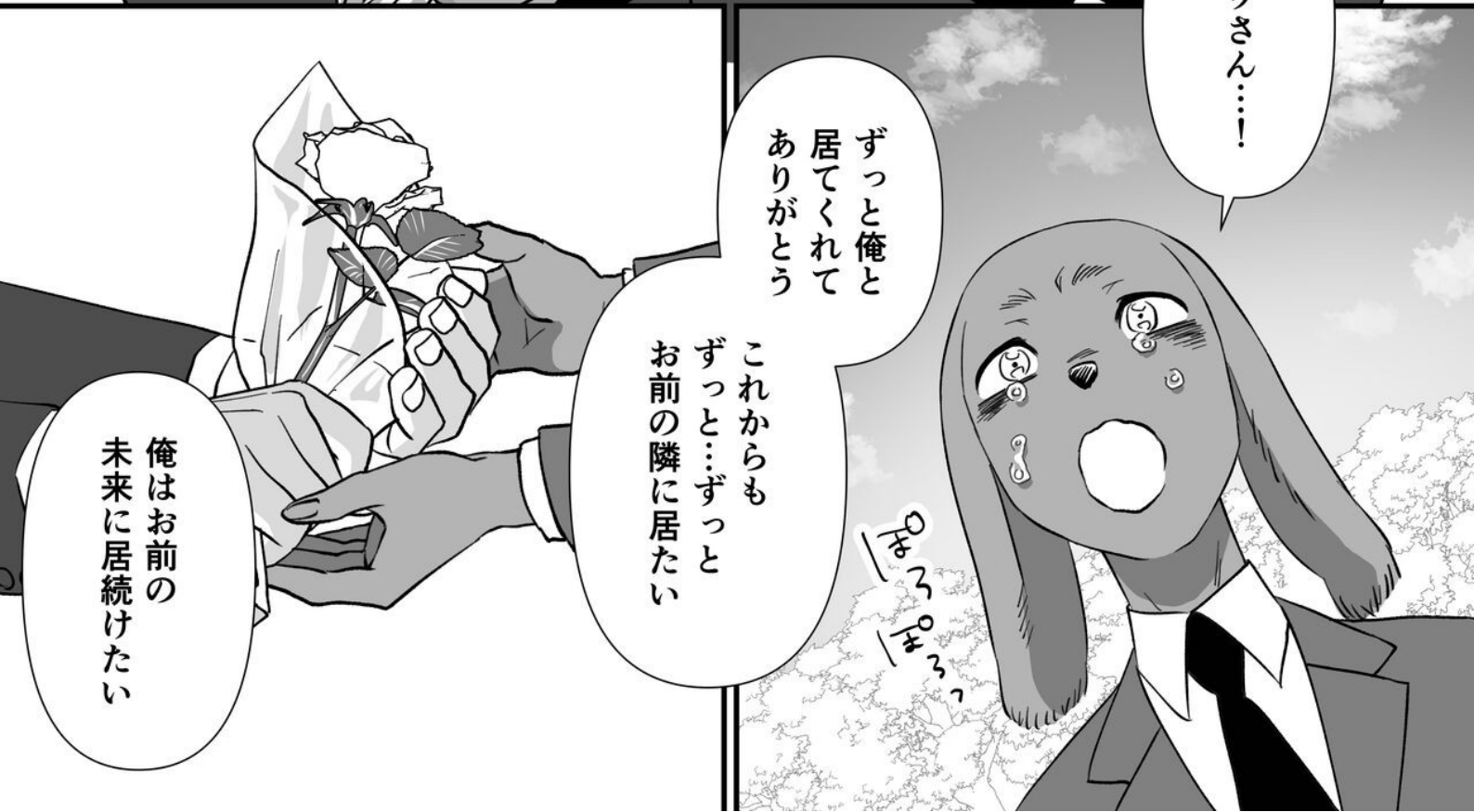




これを
受け取ってほしい

これ……

白いバラ……

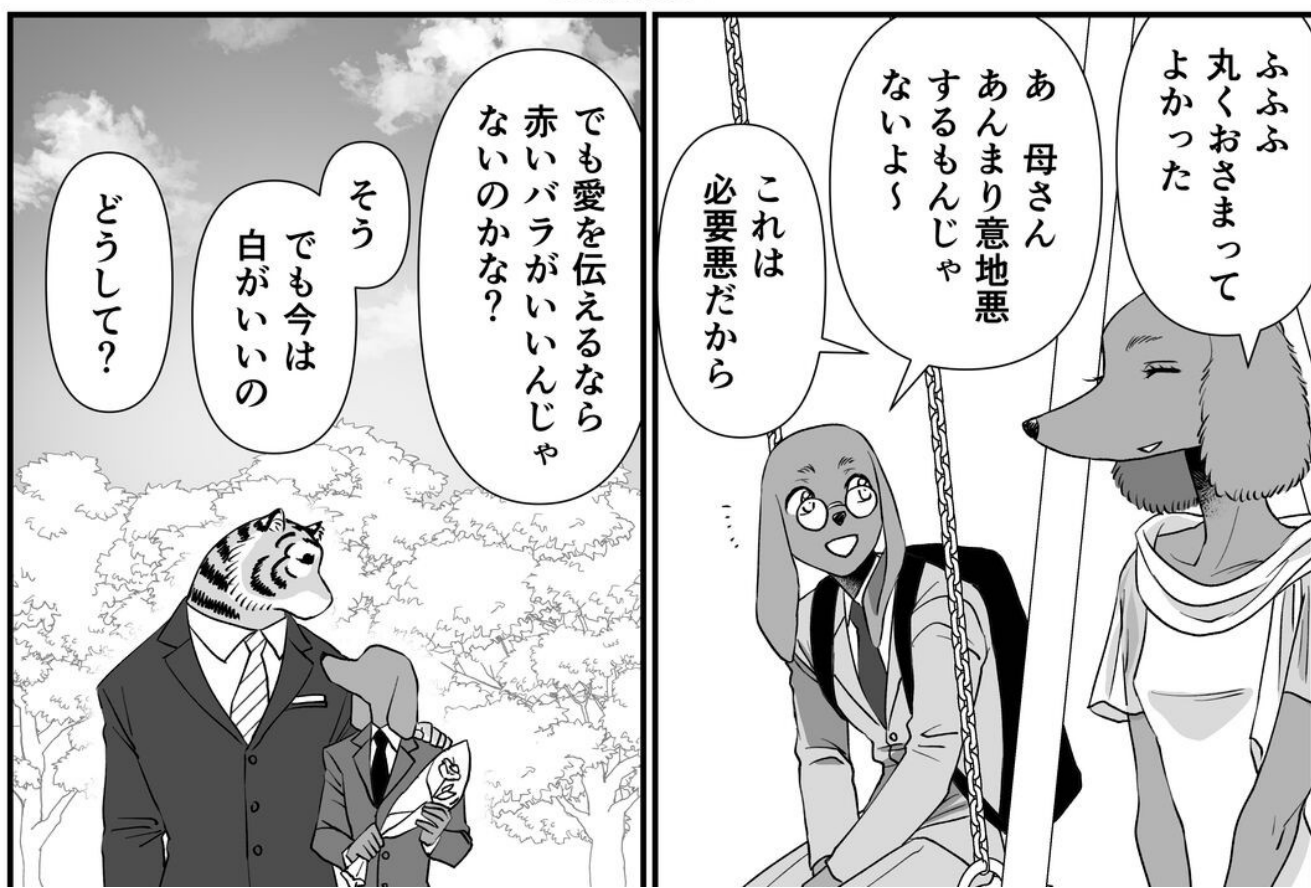


タロウさん……!

ずっと俺と
居てくれて
ありがとう

これからも
ずっと……ずっと
お前の隣に居たい

俺はお前の
未来に居続けたい



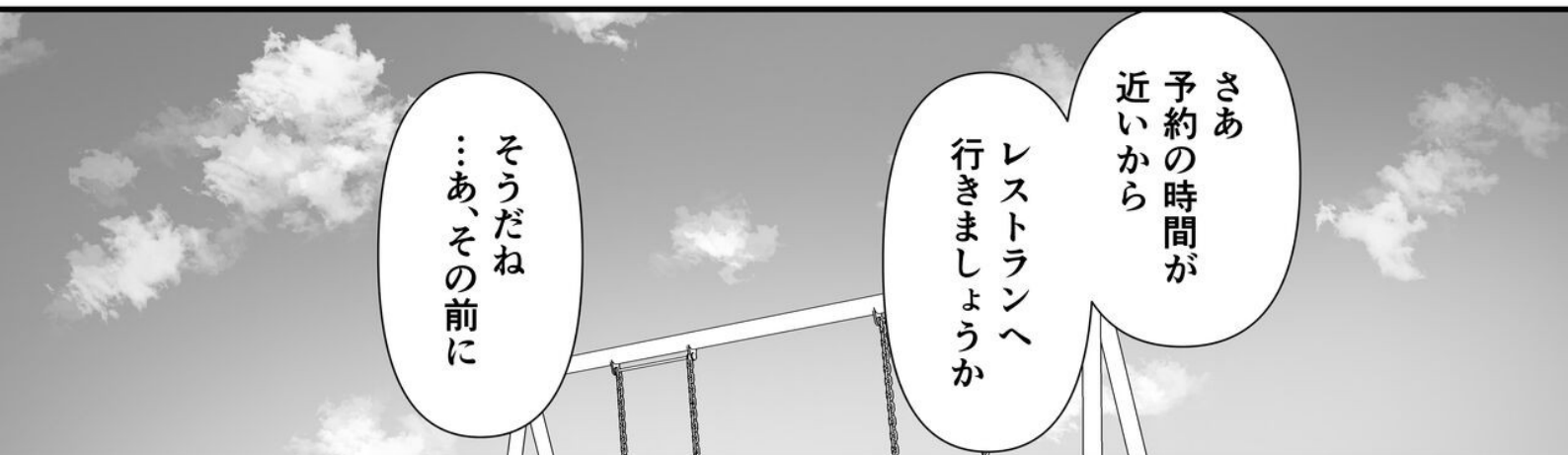


白いバラの
花言葉は

『私はあなたに
ふさわしい』

今のタロウさんに
とって一番必要な

決意



さあ
予約の時間が
近いから

レストランへ
行きましょうか

そうだね
…あ、その前に



おーい
二人とも！

4人で
写真を撮ろう！

